

スイス国立チューリッヒ芸術大学

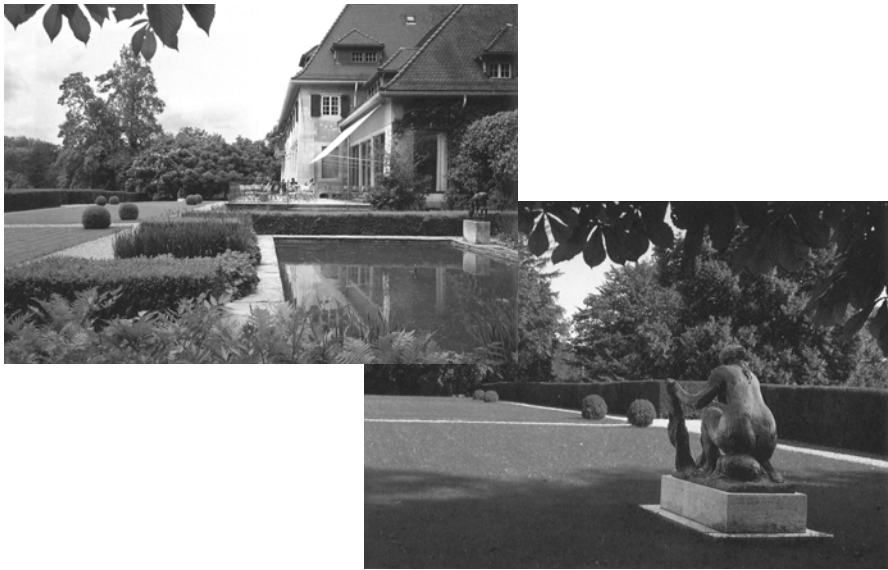
(旧チューリッヒ音楽大学)

マスタークラス

Züricher Hochschule der Künste

Master Class

## 要 項



TIAA

東京国際芸術協会

## < 主旨 >

これからもっと音楽を勉強したいという音楽家を対象に豊かな表現力や、可能性を引き出し、国際的に活躍できる音楽家の育成として、その学習機会を提供し、もって音楽文化の発展、向上に寄与することを目的として開催します。

## < 実施概要 >

スイス国立チューリッヒ芸術大学マスタークラスが2012年8月に開催されます。このマスタークラスは、スイス国立チューリッヒ芸術大学教授によるレッスン受講を目的としています。教授陣は高い専門知識をもち、現役の音楽家として活躍する専門家で構成されています。(教授プロフィール参照)1873年に設立されて以降、約140年の歴史を持つ音楽大学です。世界的に有名な音楽家の輩出、そしてこの度はチャイコフスキー国際バイオリンコンクール優勝者神尾真由子を輩出し素晴らしい素質を持った音楽家達が多く在籍しております。希望者には、チューリッヒ音楽大学への留学の手続きや現地留学事情、住居等の生活事情についての情報交換、チューリッヒ音楽大学受験に際しての入国ビザ発給に関する情報交換も可能です。また、すでに卒業され活躍されている音楽家の方々にとっても、様々な教授のレッスンを聴講することで今後の指導法にも大きく影響を与えています。

## < マスタークラス日程 >

**A 日程:**2012年8月27日(月)~8月31日(金)

**B 日程:**2012年9月3日(月)~9月7日(金)

## < 開催地 >

スイス国立チューリッヒ芸術大学(スイス・チューリッヒ)

このマスタークラスの特徴として、ピアノ、トロンボーン、クラリネット、オーボエ、室内楽レッスンは大学にて行います。また、カルミナ四重奏団をレジデント(客員教授)として持つチューリッヒ芸術大学では室内楽(歌曲伴奏、デュオからアンサンブルまで)にも力を入れています。

## < スイス国立チューリッヒ芸術大学教授 >

ピアノ科:Karl Andreas Kolly(カールアンドレアス・コリー) / Hans Juerg Strub(ハンス ユルグ シュトループ)

ヴァイオリン科:Rudolf Koelman(ルドルフ・ケールマン) / Susanne Frank(スザンネ・フランク・カルミナ四重奏団)

ピオラ科:Wendy Enderle(ヴェンディ・エンデレ)

チェロ科:Mrtina Schucan(マルティナ・シュカン)

フルート科:Marianne Goldschmidt(マリアンネ・ゴールドシュミット) / Christian Studler(クリスティアン シュトラー)

オーボエ科:Loise Pellerin(ルイス・ペレリン)

クラリネット科:Fabio Di casola(ファビオ・ディ・カソラ)

トランペット科:Claudio Rippers(クラウディオ・リッパ - ズ)

サクソフォン科:Jean George Koerper(ジーン・ゲオルグ・ケルパー)

トロンボーン科:Stanley Clark(スタンリー クラーク)

ユーフォニアム科:Thomas Ruedi(トーマス リュエディ)

## < レッスンについて >

チューリッヒ芸術大学教授によるマンツーマン主科個人レッスンの1回のレッスン時間はおよそ45分レッスン(質疑応答、片付け込み)です。期間中2回の個人レッスンを受講します。また、レッスン以外の時間は他の受講者のレッスンを聴講することになります。受講と共に聴講することで、教授のレッスンを体験する機会は貴重な機会となります。

申し込み時に提出されたレッスン曲目については事前説明会までに教授陣アシスタントの連絡により再度相談可能です。

## < マスタークラス参加費 >

780 スイスフラン

室内楽 850 スイスフラン (2012年4月7日現在 1フラン約89.85円換算 76,372円 )

追加レッスン 1レッスンにつき特別料金 27,000円 (レッスン同時通訳 込み)

海外で音楽を学ぶという貴重な機会を有意義に過ごしていただくため、教授陣のご厚意により特別に追加レッスンの時間を設けていただけることになりました。値段も通常のレッスンよりお安くしていただいております。これまでのマスタークラスでは、参加者の70～80%の方々が追加レッスンを希望しています。特に受験を考えていらっしゃる方々においては、教授陣が4回以上のレッスンを希望しております。

#### < 渡航日程 >

**A 日程 (前期):** 2012 年 8 月 26 日 (日) 出国～9 月 2 日 (日) 日本帰国 (9 月 1 日現地出発)

**B 日程 (後期):** 2012 年 9 月 2 日 (日) 出国～9 月 9 日 (日) 日本帰国 (9 月 8 日現地出発)

現地教授アシスタントによる**出発事前説明会(出席必須・代理人参加可)**を7月8日(日)東京にて予定しています。

#### < 定員 >

各コース6名(定員になり次第締め切り) ヴァイオリンはBクラスのみ可能

#### < 修了証 >

マスタークラス修了日に担当教授よりチューリッヒ芸術大学マスタークラス修了証が授与されます。

#### < 渡航・宿泊・食事 >

##### 旅行費用

##### 旅行費用詳

ホテル1人部屋6泊7日朝食込み、食事(昼食6回、夕食6回)ホテル代と食事の合計123,750円、スイスパス4日間(25歳以下200フラン、25歳以上260フラン及び美術館等観光費用含む、空港からチューリッヒ市内移動約13フラン含む)、コンサート75フラン

合計 288フラン(25歳以下) 348フラン(25歳以上) 1フラン89.85円(2012年4月7日現在 換算25,876円(25歳以下 申込締切時点) 31,267円(25歳以上))

往復航空券 第1次締切A、B日程 174,000円

往復航空券 第2次締切A、B日程 197,000円

現地教授アシスタント先生通訳同行費(TIAAより派遣) 27,500円

渡航費(航空会社燃料高騰サーチャージ、成田空港税、航空保険料、現地国際空港税含む) 31,245円

航空会社燃料高騰サーチャージにつきましては燃油の高騰にともない、金額の変更がある場合がございます。

航空保険料につきましては、海外旅行保険とは異なりますのでご注意下さい。

事務手続き代金(海外送金手数料含む) 16,800円

A 日程：第一次申し込み締め切り	399,171	円(25歳未満)	第1次申込締切時点での年齢)
	404,562	円(25歳以上)	
第二次申し込み締め切り	422,171	円(25歳未満)	第2次申込締切時点での年齢)
	427,562	円(25歳以上)	
B 日程：第一次申し込み締め切り	399,171	円(25歳未満)	第1次申込締切時点での年齢)
	404,562	円(25歳以上)	
第二次申し込み締め切り	422,171	円(25歳未満)	第2次申込締切時点での年齢)
	427,562	円(25歳以上)	

#### ～ 宿泊・食事について～

滞在先ホテルは3つ星から4つ星のホテルで1人部屋をベースとしております。

友人、または親子参加をご希望の方は、6月5日までにお申し込み下さい。

宿泊地：チューリッヒまたは近郊のホテルを利用します。

< 日本人が比較的少ない街でヨーロッパの暮らしのスタイルを体験出来ます。 >

#### 朝食・昼食・夕食込み

朝食はホテルでのビュッフェを用意しております。昼食は現地のランチスタイル(カフェでのケーキやパフェとお茶、もしくはレッスンのある日程ではカフェ手作りのサンドイッチのテイクアウト等)をお楽しみ頂けます。

夕食には、スイス料理(チーズフォンデュやレスティ)、イタリアンレストランでの食事を予定しています。

ホテルでの滞在およびチューリッヒ芸術大学への行き帰りは、教授アシスタントが同行します。

宿泊ホテルは指定した1箇所のホテルでの滞在となります。

#### ～ 渡航について～

現地税関や入国の際にも(飛行機自己手配の方々は含みません)、教授アシスタント同行通訳スタッフが控えておりますので安心して渡航していただけます。

飛行機自己手配の方は、事務局より飛行機等の手配状況を確認させていただくことになります。

**(申込用紙に飛行機会社、日時を明記のこと)**

自己手配の方は現地空港集合となります。

往復航空券その他、サーチャージ、空港税等については自己手配となるため、上記旅行費用から差引くこととなります。

自己手配の方においては飛行機の遅延等によって集合時間に集まらない場合、もしくは延着をしてレッスンに間に合わない場合等においても一切の責任は負いません(ホテル代金等の返済はなし)。

**自己手配の方においては原則として1人部屋のみの手配となります。**

飛行機はスイスエアー(早期申し込みはスイス航空に確定)もしくはルフトハンザ。オーストリア航空を利用します。

弊社航空券手配は、安全面を最優先しているため、正規割引運賃でのご案内となります。

国内便接続便の手配も行いますので、遠方の方で国内便もご希望の方は申込書に明記して下さい。チェロ等、飛行機内持ち込みに制限がある楽器につきましては、機内座席を参加者ご自身の席を含め、2席購入していただく場合がございます。

事務局を經由して申し込む場合は別のルートになるため、個人購入よりは安くなります。

#### ～生活・費用等について～

事前説明会において、曲目に関するアドバイス、レッスンの形態、現地での生活など、様々な疑問に対して、協会職員と現地での教授アシスタント同行通訳スタッフがお答えします。

また、留学をお考えの方々に対しては、留学等のアドバイスもいたします。

説明会は一括説明の後に、それぞれの方々からの個別質問、その後に個別相談という形になります。

#### <レートについての注意事項>

上記費用のレート計算につきましては、費用ご請求書発行時(お申し込み受諾後)のレートを適用させていただきます。レートにより、上記費用が変動になる可能性がございます。ご了承下さい。

#### <申込方法>

要項挟み込みの申込書に必要な事項を記入の上、下記事務局までお送りください。

声楽受講者は伴奏譜も一緒にお送りください。

**また、申込書届き次第、随時、教授陣アシスタントの方ともコンタクトを取って頂くため、パソコンメールのアドレス(ない場合は携帯)を必ずご記入下さい。**

#### <申込締切日>

第一次申し込み締め切り 2012年6月11日(月)必着(FAXの場合は18時まで)。

但しそれ以前でも、申込者が定員になり次第、締切られます。

海外マスタークラスオーディションを受験される方につきましても、事前に申込用紙を提出頂き、

下記備考欄に、オーディション受講と記載頂いた方については、受講料免除(合格・準合格)の場合、申し込み後でも適用されます。**振込完了確認が、6月15日までに出来る方に限ります。**

**第一次申し込み締め切りの方においてはスイス航空を確約します。**

第二次申し込み締め切り 2012年6月20日(水)必着(FAXの場合は18時まで)。

第一次申し込みで締め切りになっている場合もございます。

また、特殊楽器での参加や親子参加等の方はなるべく第一次締め切りまでにお申し込み下さい。

#### <キャンセルについて>

申し込み後のキャンセルはできません。申し込み後のキャンセルの際はキャンセル料として事務手続き代金12,600円をお支払い頂きます。また、申込締切日以降のキャンセルにつきましては下記の旅行取り消し費用が発生します。

渡航費飛行機につきましては正規割引航空チケットのため申込されますとキャンセルが不可能になりますので、途中解約する場合飛行機代金については100%返金不可となります。予めご了承ください。

チューリッヒ渡航業務については、東京国際芸術協会より下記の指定旅行代理店に委託します。

渡航委託旅行代理店 株式会社京王観光 新都心支店

観光庁長官登録旅行業第10号 (社)JATA 日本旅行業協会正会員

旅行規約に従い、申込後の取り消しについてはキャンセル料が発生します。

渡航40日前までの取り消し 10500円(第一次締め切り、第二次締め切りについては別途参照)

国土交通大臣登録旅行業第1847号 (社)日本旅行業協会正会員

旅行規約に従い、申込後の取り消しについてはキャンセル料が発生します。

渡航40日前までの取り消し 10500円

渡航30日前までの取り消し (旅行費用の20%)

渡航1週間前までの取り消し (旅行費用の50%)

無連絡不参加及び旅行開始後 (旅行費用の100%)

#### <その他>

このマスタークラスではコンクール・オーディションにおいて成績優秀者に学費免除推薦が認められています。

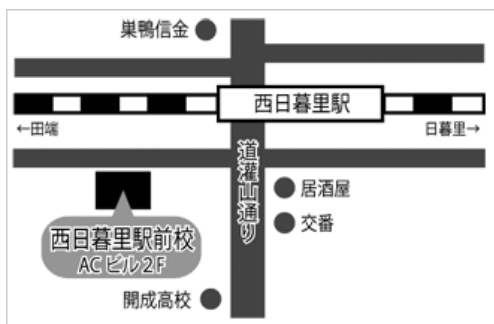
宿泊先、食事の自己手配はできません。航空券自己手配の方も現地集合後は全て安全確認上同行員の指示に従ってください。

## < 説明会のお知らせ >

絶対参加となっております。代理人(ご家族様)の参加も可能

また、未成年の方が講習に参加する場合は、ご両親様の参加もお勧めしております。

マスタークラス全体説明会を2012年7月8日(日)11:00~13:00 東京音楽学院西日暮里校にて行います。当日直接説明会会場までお越しください。



東京音楽学院西日暮里校

東京都荒川区西日暮里 4-1-20AC ビル 2 階

TEL: 03-3822-7412

FAX: 03-3824-0034

JR 山手線・京浜東北線・メトロ千代田線

各「西日暮里駅」下車徒歩 1 分

## < 教授陣プロフィール >



Karl Andreas Kolly (カールアンドレアス・コリー) 教授

教会オルガニストである父親 Karl Kolly と Karl Grenacher から初めにピアノレッスンの手ほどきを受け、Zuerich Musikakademie にて Hans Schiker の元で学ぶ。ベルンでは Karl Engel の元でマスタークラス受講、1991 年には最優秀ソリストディプロマである、Eduard Tschumi Preis を受賞。ルツェルンでは Mieczyslaw Horczowski の元でマスタークラスを受講、Jecklin コンクール第一位、チューリッヒでは Landolt und Hochschul 賞、Prix Maurice Sandoz 内のコンクール第一位など数々のコンクールを制覇する。全ヨーロッパ、日本、韓国、オーストラリア、アメリカ合衆国でソロピアニスト、室内楽ピアニストとして、多くのコンサートを行い、大成功を収める。また、インターナショナルミュージックフェスティバルルツェルン、パッサウとドナウでのフェスティバルなどにも参加。チューリッヒ トーンハレオーケストラ、ベルンシンフォニーオーケストラ、スロヴァキアラジオシンフォニーオーケストラ、バルセロナ オーケストラ シンフォニーなどと共演。室内楽ピアニストとして Trio Novanta を結成し、ブラームス、フランクの全作品集を演奏する。1992 年にはシューマンの演奏と共に初 CD を作り、好評を博す。それ以来、30 枚以上の CD を作成している。現在はチューリッヒ国立音楽大学大学院で教授として指導にあっている。



Rudolf Koelman (ルドルフ・ケールマン) 教授

アムステルダム音楽院で学び、1978 年から 1981 年に Jascha Heifetz 最後の弟子として、ロサンゼルス南カリフォルニア大学で学ぶ。その後 1999 年までロイヤルコンセルヘボールオーケストラ(オランダ)コンサートマスターを務める。コンサートツアーを行うと同時に数多くの CD 録音を行う。チューリッヒ音楽大学教授であると同時に、シドニー音楽院初め多くの客員教授として各国から招聘されている。



Susanne Frank (スザンヌ・フランク) 教授

Wendy Enderle (ヴェンディ・エンデレ) 教授

研ぎ澄まされた表現力、驚くべき完成度、そして比類なき音楽性を兼ね備えた弦楽四重奏団。1984 年にスイスで結成。「パオロ・ボルチアーニ賞」国際弦楽四重奏コンクールで大成功をおさめ(1 位なしの 2 位)、国際的メディアで報じられたことで、その名を世界中に轟かせることとなった。「将来は約束された」(ファイナンシャル・タイムズ)と評され、今まさに世界をリードする弦楽四重奏団である。シャンドル・ヴェーグ、アマデウス弦楽四重奏団、ラサール弦楽四重奏団等に師事。ニコラウス・アーノンクールとの出会いは、彼らにオーセンティックな(古楽)奏法への強い創造的関心を引き起こした。内田光子、エリザベス・レオンスカヤ、エマニュエル・パコ、トルルス・モルク、ヴォルフガング・マイヤー、ザビーネ・マイヤー、アントニオ・メネセス、ヴェロニカ・ハーゲン、オラフ・ペーア、ヴォルフガング・ホルツマイヤー 等と共演するなど、その活動の幅を広げている。批評家から高い評価を受けた DENON のシリーズでは英グラモフォン賞、仏ディアパゾン・ドール、仏ル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック誌の Choc(最高評価)、ドイツ批評家賞など数々の賞を獲得し、グラミー賞にもノミネートされた。田部京子と共演した CD「シューベルト: ピアノ五重奏曲『ます』、シューマン: ピアノ五重奏曲」が音楽之友社主催、2008 年度レコードアカデミー賞の室内楽部門賞を受賞。現在、スイス ヴィンタートゥーアのチューリッヒ音楽大学を拠点として、自らの豊かな経験と優れた芸術性を次の世代へ伝えている。



#### Martina Schucan (マルティナ シュカン) 教授

14歳の時よりデトモルトでアンドレナヴァラ(D)のマスタークラスを受講。卒業後、ハインリッヒシフ、ダニエルシヤフランとヤーノシュタルケルの元で研積を積む。フィレンツェでのガスパルカサドコンクールで一等賞を初め、国際コンクール多数受賞、世界中でのコンサート活動を行う。バンベルク交響楽団、メトロポリタンオーケストラ東京などの著名なオーケストラと共演、管弦楽団スイスロマンダ管弦楽は、トーンハレ管弦楽団チューリッヒ等と競演、ルツェルン、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン州、ウィッテン、シュヴェツィンゲン、モンペリエ、ブラチスラバ、北京の国際映画祭等に招聘される。室内楽奏者としても、クフモ室内楽音楽祭、プロイセンコープ、ダボスに参加し、ユーリバシユメット、ジョルジ Kurtág、ハインツホリガー、ラファエルオレグ、ヴェロニカハーゲン、ヨーグウィッテンバッハ、カルミナ四重奏団などと共演をする。



#### Loise Pellerin (ルイス・ペレリン) 教授

モントリオール音楽院、フライブルグ音楽大学を最優秀で卒業したカナダ人である彼女は、チューリッヒ室内管弦楽団、ケルン WDR シンフォニーオーケストラ、カメラータベルンなどと共演し、ヨーロッパ、カナダでの国際コンクール審査員となる。そして、チューリッヒ、アテネ、ベルリン、ロンドン、ルツェルン、モントリオール、ニューヨーク、パリ、東京、ローマ、ザルツブルグの音楽祭に招聘され、Andras Schiff, Leonidas Kavakos, Heinz Hollinger, Radovan Vlatkovic と共演する、また演奏ツアーではアメリカ合衆国、ヨーロッパ、アジアにて行う。現在はチューリッヒ音楽大学教授であると共に、カメラータザルツブルグのソロオーボエニストとしても活躍。



#### Fabio Di Casola (ファビオ・ディ・カソラ) 教授

1998年にジュネーブでのスイス最優秀音楽家賞を受賞し、1991年 Winterthur 市立管弦楽団ソロクラリネットリストとなる。Evian でのフェスティバルでその才能を Mstislav Rostropovic に発掘される。Heinz Holliger は Sandor Veress のソロクラリネットリストとして抜擢され、1995年には Mikhail Pletnev の指揮の下ロシア国立オーケストラでのソリストを務める。ジュネーブでの CIEM 国際コンクール第一位、Stresa 現代音楽国際コンクール第一位、Prix Suisse の Grand Prix Patek Philippe 第一位。



#### Thomas Ruedi (トーマス・リュエディ) 教授

1969年スイス、ベルン生まれ。11歳でユーフォニアムを始める。幼少の時から様々な学生コンクールで優勝するなど頭角を現した。1990年から95年までイギリス、シェフィールド大学でユーフォニアム、指揮、作曲、編曲を学んだ。学生時代はイギリス国内の著名金管バンドでも活躍した。ソリストとして世界中のオーケストラ、吹奏楽団、金管バンドなどと共演、またソロリサイタルや室内楽のコンサートを精力的に行っている。A. Dubach, S. Carolino, P. MacCann など世界中の優れた共演者からインスピレーションを受け様々なプログラムに取り組んでいる。演奏家としての活動のほか、Musikhochschule Luzern, Hochschule der Kunst Bern で教授としてユーフォニアム、室内楽の指導にあたっている。また世界各地でもマスタークラスや個人レッスンなどを行っている。ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、アジアなど世界中で精力的に活動。1999年ミュンヘンで開催された European Solo Championships for brass players での優勝を始め、数々の国際コンクールでの入賞歴がある。これまでに「Elegie」, 「Synthesis」2枚のCDをリリースしておりいずれも話題になっている。チューリッヒ・トーンハレ交響楽団を始めスイスの著名なオーケストラでの客演も務めている。

全ての楽器での受講が可能です。他楽器で詳細経歴をお知りになりたい方は第一次締め切り前に事務局にお尋ね下さい。

#### <お問合せ・お申込先>

一般社団法人 東京国際芸術協会

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 6-13-12 TIAA ビル

TEL 03-3809-9712 FAX 03-3809-9711

<http://www.tiaa-jp.com> E-mail: [info@tiaa-jp.com](mailto:info@tiaa-jp.com)

## 2012年夏スイス国立チューリッヒ芸術大学マスタークラス

必ず要項の内容をよく確認した上でご記入ください。申込用紙に不備・記入漏れがある場合、申込手続きができない場合がございます。

ふりがな						<b>写真</b> (4.0cm × 3.5cm)
氏名	姓				名	
ローマ字	(LAST NAME)			(FRIST NAME)		
パスポート記載名 (ローマ字)	(LAST NAME)			(FRIST NAME)		
生年月日	年	月	日	年齢	歳 性別 男・女	
ふりがな						
保護者氏名	18歳以下の方は保護者の同意をお願いします					
住所 (書類送付用)	〒 都道 区・市 府県 郡					
住所 (本籍)	パスポートの記載通りお願いします。(丁目、番地等そのまま書いてください)					
電話番号	( )	携帯電話	( )			
FAX	( )	e-mail				
パスポート番号	更新中の方は更新中と記入し、取得次第書面(FAX・メール可)にてご連絡ください			国籍		
緊急連絡先	〒					
レッスン曲目	邦題 < 作曲者名 >		< 邦題 >		< 演奏時間 >	
	原語 < 作曲者名 >		< 作曲者の年代 >		< 原題 >	
レッスン曲目	邦題 < 作曲者名 >		< 邦題 >		< 演奏時間 >	
	原語 < 作曲者名 >		< 作曲者の年代 >		< 原題 >	
専攻楽器			日程 コース	第一次申込 A日程・B日程 第二次申込 A日程・B日程		
追加レッスン	希望する ( 回 ) ・ 検討中 ・ 希望しない					
学歴・賞歴						
現在までに師事した先生						
航空券手配	航空券自己手配を希望します 自己手配希望の理由:					
自己手配希望者 のみご記入ください						
署名	上記の内容で申込をします 署名			日付	印	

レッスン曲の原語は作曲者(フルネーム)、作曲者の年代、曲名の順番で記入してください  
 例) Ludwig van Beethoven (1770-1827) aus Klaviersonate Nr.30 op109  
 1,Vivace ma non Troppo  
 2,Prestissimo  
 3,Gesangsvoll, mit inniger Empfehlung ,Andante cantabile ed espressivo